

荒川工科高等学校コラボイベント開催

荒川区青少年育成地区委員会連絡協議会

都立荒川工科高等学校（定時制課程）のご協力のもと、令和6年12月に「電子ちょうちん」、令和7年1月に「光るアクリル写真立て」の製作体験を開催しました。どちらも区内の小学3年生から6年生までの児童およそ40名が参加しました。このイベントは今年度で4回目となります。今回も生徒の皆さんと先生方が子どもたちを温かく迎え、体験がスタートしました。

生徒の皆さんは、子どもたち一人ひとりに声をかけ、注意点やコツを優しく丁寧に教えてくれました。サポートを受けた子どもたちは難しい工程も最後まで諦めず、素敵な作品を完成させることが出来ました。

はじめは緊張した様子の子も、最後には生徒の皆さんと笑顔で話したり、参加者同士で完成した作品を見せあったりするなど、楽しそうな様子が見られました。また、校内には生徒の皆さんが製作した遊具も設置され、子どもたちに大人気でした。

今回、参加した子どもたちからは、「わかりやすく教えてくれて楽しかった」「普段体験できないことができて嬉しかった」「また参加したい」との声をいただきました。ものづくりの楽しさや荒川工科高等学校の魅力を感じてもらえたと思います。

今後も、子どもたちに学びや体験の機会が提供できるよう、楽しいイベントを企画してまいります。



製作時の様子



電子ちょうちん・写真立て



生徒製作の遊具で遊ぶ様子

アンケート

アンケートにお答えください。抽選で30名の方に「あらかわの心」オリジナルサコッシュをプレゼント致します。郵送が電子申請によりご応募ください。

● 郵送の場合

はがきに、1. 住所 2. 氏名 3. 電話番号 4. アンケート①②③④ をご記入の上、本ページ左下宛先を切り取り、はがき宛先面に貼り付け、お送りください。

● 電子申請の場合

こちらのQRコードを読み込み、応募画面にお進みください。



オリジナルサコッシュ

● 締め切り

令和7年6月15日（日）。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

なお、いただいたご意見等は、ニュース等の広報誌で紹介させていただくことがありますので、ご了承ください。

アンケート

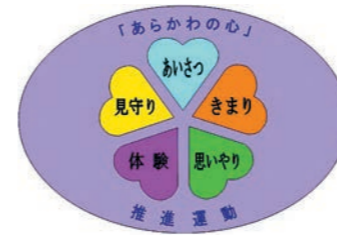
- ①以前から「あらかわの心」運動を知っていましたか。
- ②「あらかわの心」運動を何で知りましたか。
- ③もっとも興味・関心をもった記事は何ですか。
- ④「あらかわの心」運動へのご意見・ご感想を教えてください。

「あらかわの心」カルタの販売について

このカルタは、あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守りの心をつなぐ5つの取り組みを表現しており、大人も子どもも楽しみながら、「あらかわの心」について一緒に考えていただけるカルタです。カルタは荒川区役所2階の児童青少年課窓口で販売しています。（一組500円）



「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク

今号では、第16回「あらかわの心」カルタ大会の様子や参加団体の活動報告についてお届けします。



あら坊 あらみい

第38号

令和7年
3月3日発行

「あらかわの心」推進運動とは？

この「あらかわの心」を、次代を担う子どもに受け継いでいくため、「あらかわの心」推進運動では、

- まず大人が行動する
 - 大人と子どもと一緒に行動する
 - 地域ぐるみで子どもを見守り育てる
- という3つの視点に基づき、

- 笑顔であいさつをしよう
- きまりを守ろう
- 思いやりをもとう
- いろいろな体験をしよう
- 見守り、声をかけよう

という心をつなぐ5つの取り組みを実践することで、大人も子どもも互いに尊重し、共に生きる地域社会の実現を目指す運動です。



第16回「あらかわの心」カルタ大会

「あらかわの心」推進運動区民委員会

令和7年2月9日（日）、生涯学習センターで第16回「あらかわの心」カルタ大会が開催されました。この大会は「荒川は笑顔とあいさつにあう町」から始まる「あらかわの心」カルタを使用して対戦するもので、カルタ遊びを通して「あらかわの心」推進運動について理解を深めてもらうことを目的としています。



対戦相手を変えながら4試合行いました

小学1～3年生36名が参加し「試合開始時に手は膝の上」、「お手付きは頭の上に手を置いて一回休み」などのルールを守って対戦しました。

子どもたちはカルタの読み札や絵札を通して、楽しみながら「あらかわの心」について理解を深め、ルールを守ることの大切さを学ぶことが出来ました。アンケートには、「楽しかった」「またやりたい」との声が多くありました。これからも、カルタ大会を通して「あらかわの心」推進運動の輪が広がるよう、引き続き普及・啓発活動を続けていきます。



授賞式の様子

第38号 令和7年3月3日発行

発行 「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
(荒川区子ども家庭部児童青少年課内)

TEL. 03-3802-3111 (内線3833)
FAX. 03-3802-3174

<Eメール> arakoko@city.arakawa.lg.jp

<ホームページ>

右記QRコードから、「あらかわの心」推進運動のホームページにたぶることができます。



〒116-8501
東京都荒川区荒川2-2-3

荒川区子ども家庭部児童青少年課内
あらかわの心ニュースアンケート係



子どもまつりでカルタ会を開催しました



「あらかわの心」推進運動区民委員会

南千住・荒川・尾久地区の子どもまつりで、「あらかわの心」カルタ会を開催しました。子どもたちの楽しそうな笑顔があふれる中、大人も童心に帰ってカルタを楽しみました。

悔しくて涙をこぼす子もいれば、年下の子にそっと札を譲る優しい姿もみられ、世代を超えて心を通わせる、温かな時間となりました。

尾久っ子ワクワクまつりでカルタの読み手を担ってくれていた中学生ボランティアの方に感想をいただきました。



- ・保育園児や小学生の子たちが興味を持って楽しくやっていて、自分も楽しくできました。
- ・おてつきをしてしまったり、たくさん取れたり、嬉しがっている子、悔しがっている子など、いろいろな子がいて、とっても楽しかったです。
- ・やり続けているうちに、だんだん面白く感じてきて、楽しそうに札をとる姿を見て、こっちも楽しくなった。



防災訓練に参加して

成田 ひな 第三瑞光小学校3年

友達と一緒に防災訓練に参加しました。まずは消火栓のホースを持って放水する訓練をしました。ホースを友達と二人で持ちましたがとても重かったです。水が出たときはもっと重くて落としそうになりました。すごい勢いで水が出たので驚きました。訓練でやらなければ、実際にはできないと思いました。

次に AED の説明を受けました。AED を使うことができれば、人の命を救うことができる、すごい機械だと思いました。実際に体験で操作している人を見て、教えてもらわなければ、使い方がわからないと思ったので、訓練はとても大事だと思いました。もしも実際に AED を使うときになったら、この訓練を思い出してすぐに AED を使えると思いました。

一人一人が頑張れば、人の命を救うことができる事がわかりました。もしも、またこのような訓練が行われたら、たくさん参加して、いろいろな訓練に挑戦してみたいです。



訓練の様子



もちつき大会を開催しました

荒川一丁目西文化会

荒川一丁目西文化会は水再生センターとサンパール荒川に挟まれたエリアの町会で毎年 12 月に町内の公園を使ってもちつき大会を行っています。

無料でお餅と豚汁が食べられて、お餅をつくことが出来たり、くじ引き大会もあります。コロナで数年お休みもありましたが昨年から再開し親子連れが大勢集まってきてくれます。

今回は 12 月 8 日(日)に開催しましたが大変陽気もよく、気持ちのよい大会が開催できました。お餅は近所のママ友チームが協力してくれて、つきたてのお餅で、あんこ餅、いそべ餅、きなこ餅を作り豚汁と合わせて来場者に配ります。

来場者はコロナ前は 120 名程度だったのですが、今回は 240 人、今回は 250 人となり、多くの方々に喜んでもらう事が出来ました。



もちつきを楽しむ様子

荒川さつき保育園「地域の人とふれあい会」に参加しました

伊藤 雅彦

令和 6 年 9 月 10 日(火)、荒川区立荒川さつき保育園で開催された「地域の人とふれあい会」に私と荒川一丁目西文化会員の役員 2 名で参加しました。

さつき保育園は西文化会と隣接しているので、園のさまざまな行事に町会として参加しています。

ふれあい会は毎年開催されていて、小さい園児さんと一緒になって、マラカスやコマ、フリスビーを作り、サインペンで色を塗ったり絵をかいたりシールを貼って完成させます。

最後は広間に移動して皆でフリスビーを飛ばすのですが、一斉に投げるので部屋中がフリスビーでいっぱいになります。

最後の方は鬼ごっこみたいになってしまいましたが、とても楽しいのでまた参加したいと思います。



当日の様子

ボランティア体験してみませんか

「あらかわの心」の 5 つの取り組みの 1 つである「いろいろな体験」をボランティア活動を通して実践してみませんか？

荒川区社会福祉協議会 梅原 一彦

「川の手荒川まつり」でボランティアに挑戦を

皆さんご存じですか？毎年行われる「川の手荒川まつり」が 100 名に及ぶ中学生ボランティアに支えられていることを。

会場案内・自転車整理・会場清掃・場内放送・介助の必要な方には欠かせません！



会場案内ボランティアもまつりには欠かせません！

方への支援などで大活躍しているんです。参加してくれた中学生に聞くと「初めてのボランティア参加で、暑かったけど楽しく出来ました！」「しっかりとゴミを分別してくれる人と、してくれない人がいて、自分は分別する人になろうと思いました」



会場を気持ちよく利用できるよう大活躍の清掃ボランティア！

「昨年と同じアンケート担当だったので、先輩から後輩へノウハウを伝えられてスムーズでした」など、ボランティアがとてもいい経験になっているようです。

今年も 4 月 29 日(火・祝日)に南千住野球場で行われます。中学生以上の方ならどなたでも参加できます。4 月以降は区立中学校を通じての応募も可能です。

皆様のご応募、お待ちしております！

【問合せ・連絡先】荒川区社会福祉協議会 荒川ボランティアセンター
TEL : 3802-3338 FAX : 3802-3831
E-mail : vorasen@arakawa-shakyo.or.jp

はばたけ子どもたち

～サマーボランティアスクール～

「いろいろなボランティアをやってみて、どれも楽しい。将来何になろうかな…」



子育て交流サロンで

「保育園で活動してから、保育士さんになりたいくてピアノを習い始めた。」「施設でお年寄りとお話するのが楽しくて、毎年参加している。」

昨年、夏休みに実施したサマーボランティアスクール(サマボラ)に参加した子どもたちの声です。参加者は延べ 437 人。

ご協力いただく保育園、高齢者・障害者施設での手伝いや交流をはじめ、企業での作業体験や自宅でできる作品制作など盛りだくさんのメニューがあります。小中学生対象が中心ですが、高校生・大学生や大人も参加可能なものもあります。今年もあなたもボランティアの第一歩を踏み出してみませんか？